

事務所の取組内容（加古川）

1. 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援

○避難確保計画作成支援のための支援ツールを作成

加古川水系における市町村の計画作成促進に向けた支援として、モデル施設を対象に「避難確保計画」及び計画の実効性を高めるための「避難行動タイムライン」を作成するワークショップを実施

ワークショップの実施

施設管理者の他、地域の方(地区会長)にもご参加いただき、水害リスクを把握し、災害の発生を想定しながら安全な避難先と避難経路などの計画作成に必要な情報を確認した。さらに、安全な避難のためにとるべき行動や、施設被害に対してとるべき行動を整理し、「避難行動タイムライン」を作成した。

作成にあたっては、避難確保計画及び避難行動タイムラインを作成するためのエクセルツールを活用した。



支援ツール

← 避難確保計画、避難行動タイムライン作成ツール: 必要事項を入力すると、計画とタイムラインが自動生成されるエクセルツール

↓ 避難行動タイムライン

避難を行うための準備を追加・タイミングの確認

課題の対応策を行動項目として追加

入力項目	入力セル	入力例、備考等
反映先: 表紙、他		
計画作成年月日	2019年10月10日	
施設名	マイハウスみのり	
住所	加東市河高2538-1	
所在市町村名	加東市	
所在地区名 (避難勧告等の発令先地区名)	加東市河高	
対象となる災害	1. 浸水害	1. 浸水害 2. 土砂災害 3. 両方
反映先: タイムライン「1. 施設の利用状況の確認」、避難確保計画 (様式1)		
施設の収容人数の状況		
昼間	利用者 <input type="checkbox"/> 施設職員 <input type="checkbox"/>	
夜間	利用者 <input type="checkbox"/> 施設職員 <input type="checkbox"/>	
休日	休日設定の有無 <input type="checkbox"/>	
利用者	施設職員	
避難対象、利用者数、施設職員数		
種別 (歩行状態等)	利用者 <input type="checkbox"/> 施設職員 <input type="checkbox"/>	
ストレッチャー	利用者 <input type="checkbox"/> 施設職員 <input type="checkbox"/>	
車いす	利用者 <input type="checkbox"/> 施設職員 <input type="checkbox"/>	
利用者	施設職員	
利用者	施設職員	
利用者	施設職員	
利用者	施設職員	
反映先: タイムライン「2. 施設ハザードの確認」		
施設階層	施設階層 <input type="checkbox"/> 1階 浸水深 5~10m	
土砂災害区域	土砂災害区域内か否か <input type="checkbox"/> 区域内 <input type="checkbox"/> 区域外	
反映先: タイムライン「7. 体制確立や避難開始等のタイミングの検討」		
対象河川①	浸水想定区域を持つ河川名 <input type="checkbox"/> 加古川	
参照する水位観測所	板波	
対象河川② (ある場合)		

今後の展開 (活用)

- 作成した支援ツールを用い、出前講座等で避難確保計画の作成支援を行う。

2. 防災教育および防災訓練の実施

○洪水時の避難について体験を通して学ぶ

加古川の地域住民において、沿川の氾濫状況や浸水リスクを視覚的に実感し、早期避難の重要性を学んでもらうため、各自治体の防災訓練の場等を活用し、防災教育や浸水歩行体験を実施した。

防災教育の実施



ARによる浸水リスクの把握



浸水歩行体験の実施



浸水想定区域図による氾濫状況の把握



地域消防団と協同による浸水歩行体験

- 実施日：令和元年11月17日（日）
- 時間：9：00～12：00
- 場所：小野市立河合小学校
- 参加人数：約500名

- 参加団体：国・自衛隊・消防署・消防団・小野市水道部
・地域連合自主防災会18地区
- 主催：小野市

3. 簡易型河川監視カメラの設置

○氾濫の危険性が高く、人家や重要施設のある箇所(加古川水系17箇所)に簡易型河川監視カメラを設置

簡易型河川監視カメラの特徴

▶ 初期コストの低減

カメラ性能を制約し水位状況を定期的(5分間隔の静止画)に配信することで、電池及び通信機器等の技術開発によるコスト低減

(カメラ本体費用:70万円/台以下)

▶ 省スペース(小型化)

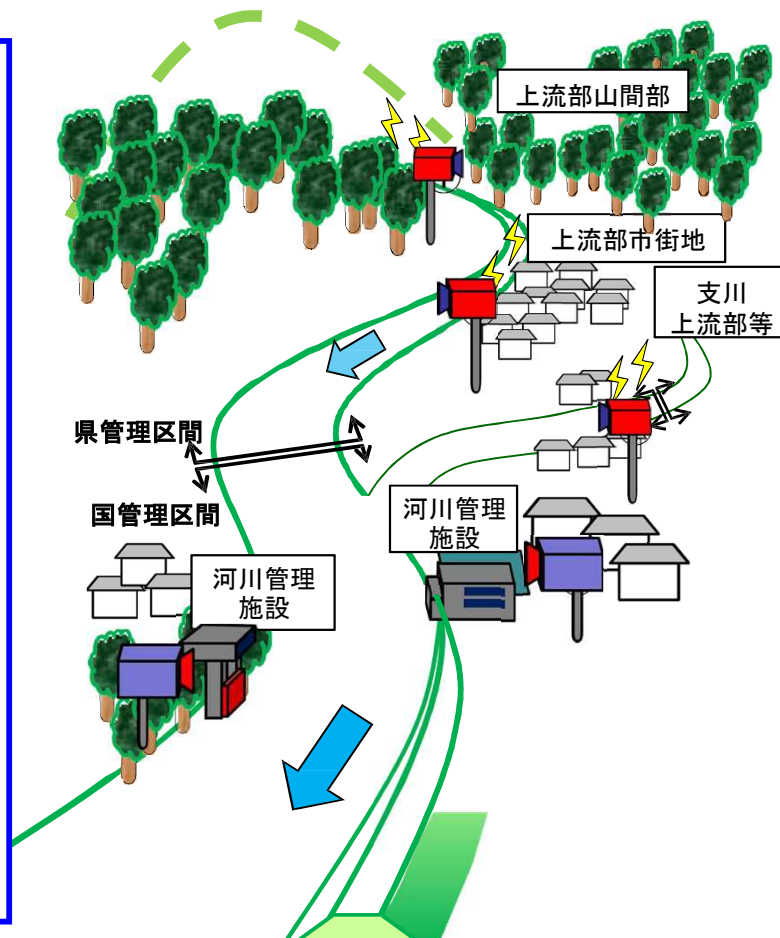
既設水位計や護岸等、容易に設置が可能

▶ 維持管理コストの低減

太陽光発電を併用、無日照状態で7日間稼働
静止画により配信することで通常の防災カメラよりデータ量を低減し、通信コストを縮減

▶ 今年出水期より運用開始

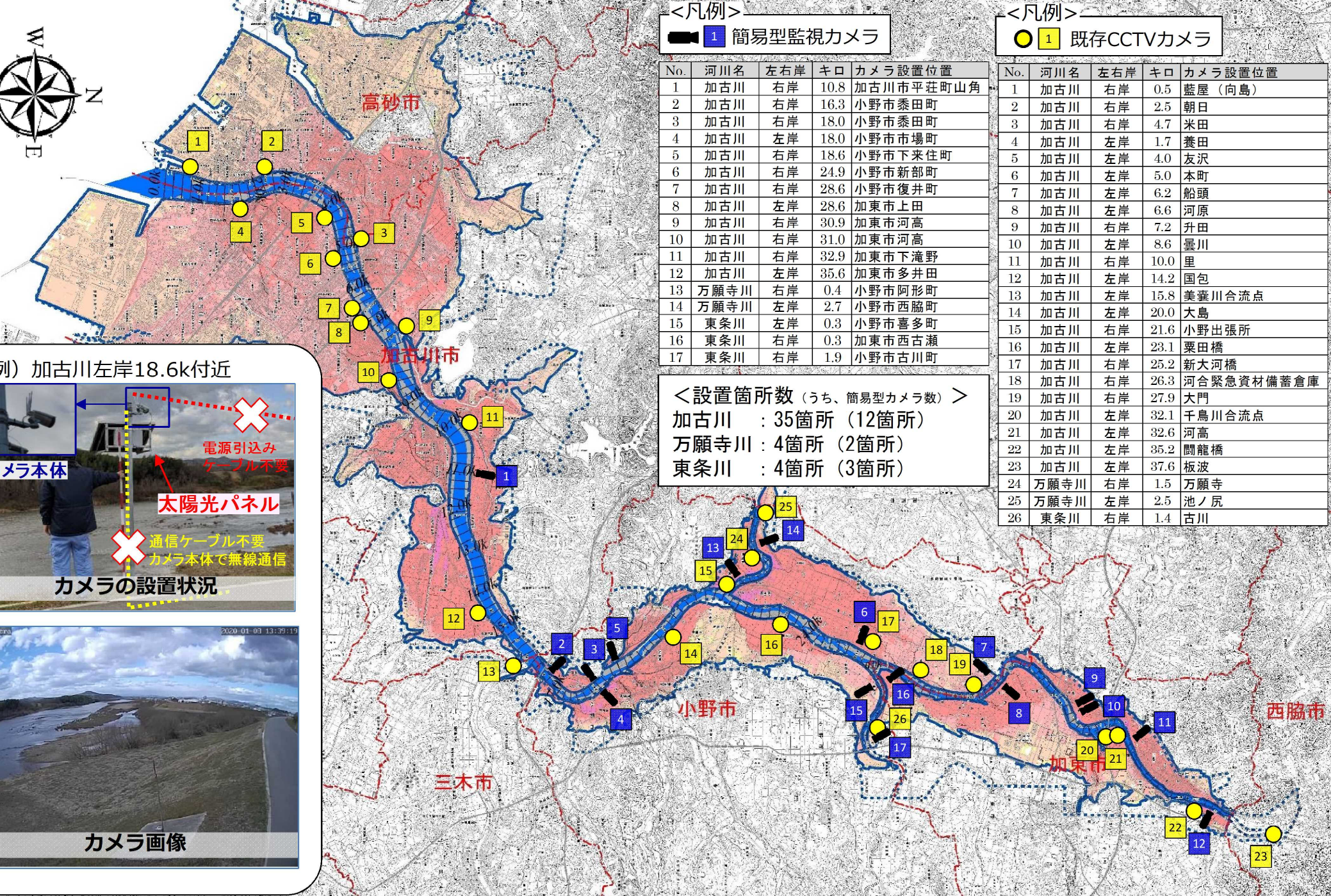
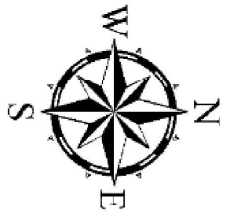
避難水位情報を補完することで、住民自らの避難判断に活用



今後の展開 (活用)

- 従来の水位情報に加え、リアリティーのある洪水状況を画像として住民と共有することで、適切な避難判断を促す。
- 地先レベルでのきめ細やかな水位把握、情報提供により迅速な避難につなげる。

3. 簡易型河川監視カメラの設置



<凡例>
 1 簡易型監視カメラ

No.	河川名	左右岸	キロ	カメラ設置位置
1	加古川	右岸	10.8	加古川市平荘町山角
2	加古川	右岸	16.3	小野市黍田町
3	加古川	右岸	18.0	小野市黍田町
4	加古川	左岸	18.0	小野市市場町
5	加古川	右岸	18.6	小野市下来住町
6	加古川	右岸	24.9	小野市新部町
7	加古川	右岸	28.6	小野市復井町
8	加古川	左岸	28.6	加東市上田
9	加古川	右岸	30.9	加東市河高
10	加古川	右岸	31.0	加東市河高
11	加古川	右岸	32.9	加東市下滝野
12	加古川	左岸	35.6	加東市多井田
13	万願寺川	右岸	0.4	小野市阿形町
14	万願寺川	左岸	2.7	小野市西脇町
15	東条川	左岸	0.3	小野市喜多町
16	東条川	右岸	0.3	加東市西古瀬
17	東条川	右岸	1.9	小野市古川町

<凡例>
 1 既存CCTVカメラ

No.	河川名	左右岸	キロ	カメラ設置位置
1	加古川	右岸	0.5	藍屋(向島)
2	加古川	右岸	2.5	朝日
3	加古川	右岸	4.7	米田
4	加古川	左岸	1.7	養田
5	加古川	左岸	4.0	友沢
6	加古川	左岸	5.0	本町
7	加古川	左岸	6.2	船頭
8	加古川	左岸	6.6	河原
9	加古川	右岸	7.2	升田
10	加古川	左岸	8.6	曇川
11	加古川	右岸	10.0	里
12	加古川	左岸	14.2	国包
13	加古川	左岸	15.8	美蘆川合流点
14	加古川	左岸	20.0	大島
15	加古川	右岸	21.6	小野出張所
16	加古川	左岸	23.1	粟田橋
17	加古川	右岸	25.2	新大河橋
18	加古川	右岸	26.3	河合緊急資材備蓄倉庫
19	加古川	右岸	27.9	大門
20	加古川	左岸	32.1	千鳥川合流点
21	加古川	左岸	32.6	河高
22	加古川	左岸	35.2	鬮龍橋
23	加古川	左岸	37.6	板波
24	万願寺川	右岸	1.5	万願寺
25	万願寺川	左岸	2.5	池ノ尻
26	東条川	右岸	1.4	古川

<設置箇所数(うち、簡易型カメラ数)>
 加古川 : 35箇所 (12箇所)
 万願寺川 : 4箇所 (2箇所)
 東条川 : 4箇所 (3箇所)

(例) 加古川左岸18.6k付近

